

至誠館大学

科目名	現代の日本社会(公開授業)			コード			
英語表記							
担当教員名	原田憲一・安永正夫			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式		履修形態	選択		
15人の講師(オーナー経営者)が、自らの起業の経緯、経営実践と経営理念の深化の過程そして経営者が描く企業の将来像を、リレー講義形式で語る、オムニバス授業です。目的は(1)現代の日本社会における企業の役割を理解し、職業観を豊かにすることです。講師の起業体験は、特に外国人留学生にとって役立つはず。 (2) 15人の講師が語るさまざまな人生訓を参考にして、これからのライフデザインの手掛かりを得ることです。							
到達目標							
実社会に出てから10年後のビジネスシーンにおける自分の姿を描くこと。							
授業計画							
第1回	加地太祐(株)aim 代表取締役)「成功する人の考え方」						
第2回	古田 寛(株)クリーンアップ 代表取締役)「世の中をきれいにするには」						
第3回	京谷忠幸(株)ピーエムティー 代表取締役)「私の人生観、仕事観」						
第4回	勝谷仁彦(株)アクラム 代表取締役社長)「家庭から始める実践経営」						
第5回	山岸 暢(株)タナット 代表取締役)「心を育てる、社会を育てる」						
第6回	神野沙樹(株)Niesul (KES社労士事務所併設)代表取締役社長)「時をつなぐしごと」						
第7回	植村千恵(株)バハティ 代表取締役社長)「今を特別に過ごせば人生は特別になる」						
第8回	長渡和久(株)コンパス 代表取締役)「名詞から動詞へ～幸せな人生を送るために」						
第9回	藤橋健太郎(株)なにわ屋 代表取締役社長)「ともに幸せになる幸せ」						
第10回	小積忠生(有)コズミック 代表取締役)「いのち輝け——子供たちと共に」						
第11回	中尾久美子(税理士法人I do 代表社員)「永続的發展企業への道～一番大切な会社の創り方」						
第12回	島野和弘(スリーナイン島野株)代表取締役社長)「公共経営の実践～他者評価というモノサシからの脱却」						
第13回	和田貴光(株)オールピース 代表取締役)「誰でも経営者 できるようになる3つのポイント」						
第14回	山下 晶(ワイズコンサルティングオフィス 代表)「人と企業の真の存在意義は何か」						
第15回	矢崎勝彦(京都フォーラム理事長)・荒木一彰(京都大学大学院)「至誠通天 社会論ことはじめ」						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
授業態度と提出物の評価を総合して評価する。毎回の出席が前提なので、5回以上欠席(公欠を含む)した場合は単位を認定しない。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				30	70		
授業外学習			テキスト、教材				
自分が知っている会社経営者(親戚やアルバイト先)がどのような経営理念を持っているのか、インタビューしてみよう。			加地太祐『成功する人の考え方』ダイヤモンド社(2016) 矢崎勝彦『信頼農園物語』地湧社(2008)				
参考書			受講生へのメッセージ				
			「会社をクビになっても、経営者になる道は残されている」という矢崎勝彦・京都フォーラム理事長の言葉を思い浮かべながら、受講すると、講義内容が身近に感じられるはず。				
キーワード							
キャリアデザイン、経営理念、人生観							